

令和2年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

日 時 : 令和2年9月29日(火) 11時00分～12時00分
場 所 : 多摩リハビリテーション学院専門学校 学院ホール基礎作業実習室3 (旧201教室)
出席者 : 林義巳副学院長、岩戸徹教務部長兼PT学科長、清水誠OT学科長、木村欣司ST学科長、佐藤讓司PT主任、中村晃一OT主任、西片裕ST主任、鈴木健二郎氏、景山雄介事務課長、黒田英寿氏(青梅商工会議所常議員)、池田隆純氏(医療法人社団和風会リハビリテーション部長)、委員11名

記

1. あいさつ

副学院長の林より委員の紹介と挨拶があった。

2. 教育課程編成委員会の開催意義について

・職業実践専門課程の申請(委員会の委員構成、回数)について

副学院長の林より、教育課程編成委員会開催の意義と職業実践専門課程について説明があった。

3. 現在の進捗状況(学科の運営、コロナ関連の報告と課題について)

(1) 全体を通して

副学院長の林より新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校の対応について以下のような説明があった。

- ① 6月以降の学生指導・授業について
- ② 学校の感染症対策について
- ③ 入学試験時の対策について

(2) 理学療法学科

教務部長兼学科長の岩戸より在籍状況・授業状況・実習状況について報告があった。

(3) 作業療法学科

学科長の清水より在籍状況・授業状況・実習状況について報告があった。

(4) 言語聴覚学科

学科長の木村より在籍状況・授業状況・実習状況について報告があった。

STプロジェクト(学生募集)について現在の状況、これから実施することについて報告があった。

1コマ100分授業から90分授業への移行についての計画とそれに伴うメリット、デメリットについて報告があった。

(5) 介護福祉学科

介護福祉学科(仮)責任者の鈴木(健)より、介護福祉学科(仮)の申請状況について報告があった。

4. 質疑応答、意見交換

(ご意見)

今年はコロナ渦の影響で臨床実習を行わず学内実習にて就職していく学生が多い。現場の病院は就職にあたり、不安がある。是非、後期では、実技試験を多く取り入れてほしい。また、卒業後も2か月後あるいは半年後など、今年度の卒業生に向けて研修を行ってほしい。

(回答)

校友会委員会と連携して前向きに検討していき、知識や技術的のほかに社会性などについても研修していきたい。

(ご意見)

介護福祉学科(仮)で介護予防運動指導員の講座がなくなった代替案として、福祉住環境コーディネーター2級あるいは3級の資格取得へ向けた講座を検討してほしい。

(回答)

福祉住環境コーディネーター2級は難しい資格だと認識している。開設までの課題とし、検討していきたい。

(ご意見)

介護福祉学科の教員が和風会の介護現場を知るために時間があるときは現場に介入してほしい。そうすることで現場も実習指導がスムーズにできるのではないかと考える。

(回答)

今後の検討課題としたい。現場の調整が必要だと思うので、実際の介入の仕方については相談していきたい。

以上